

## 海外自治体幹部交流協力セミナー2013(ロンドン事務所管内)

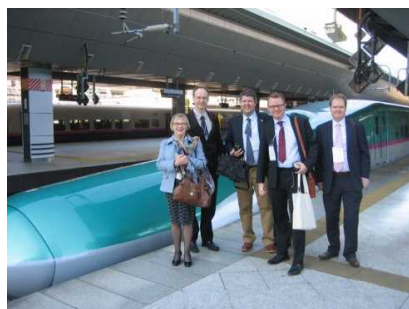
### 地方交流事業概要

#### ◆11/19(火)

東京セミナー／移動／地方交流事業

##### ○移動(新幹線)

クレアよりタクシーで東京駅へ向かい、丸の内北口から入場。参加者は新幹線車両のみならず、駅構内や電光掲示板、自動販売機なども熱心に写真を撮っていた。仙台駅改札で宮城県国際経済・交流課職員の出迎えを受け、県庁に向かった。



新幹線移動時の様子

##### ○宮城県行政説明(国際経済・交流課山崎課長他) 14:15～16:00

事前にロンドン事務所で行きまとめた、参加者からの質問に答えつつ、大震災被災の状況から復興計画、現在までの県の取り組み等について、丁寧なプレゼンテーションが行われ、参加者も熱心に聞いていた。

復興に関する説明の後、20日・21日の視察先および行程について説明が行われた。なお、本行政説明以降、宮城県側の説明に対する通訳は宮城県交流員が、参加者の発言の通訳はクレア委託通訳が行うという分担を、宮城県内の全プログラムを通して行った。



宮城県行政説明

##### ○副知事表敬(三浦副知事他) 16:15～16:35

休憩後、同じ部屋に副知事が入る形で表敬となった。副知事からは、県立の宮城大学が、ロンドン・メトロポリタン大学と提携関係にあるという話題に触れ、「他に宮城県・東北の大学と協力したいといった話があれば是非相談してほしい」と述べられた。



三浦副知事表敬

○宮城県主催歓迎夕食会 18:00～20:00

経済商工観光部 西村次長が出席、松島町副町長として大震災を経験することとなった話題に触れ、「被災地はもう安全で、復興に向けて懸命に取り組んでいることをイギリスの皆様伝えてほしい」と挨拶された。

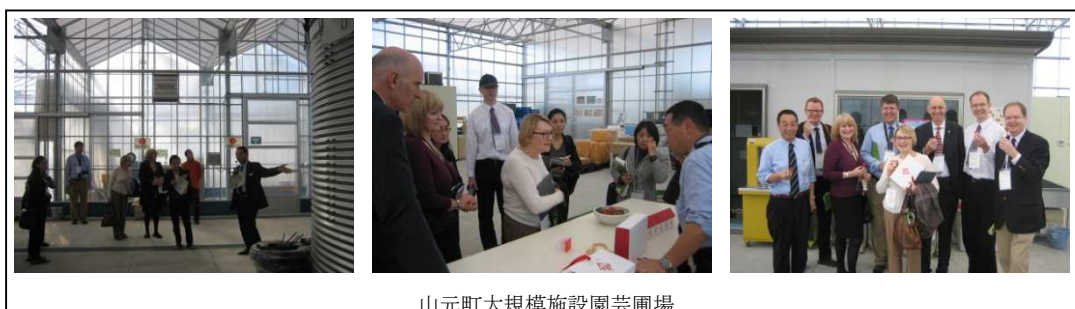
◆11/20 (水)

地方交流事業

宮城県伊藤主幹・鈴木交流員と、午前の見学先である大規模施設園芸圃場の説明者として、県農業・園芸総合研究所 菊池部長がバスに同乗、約40分のバス移動中に車内で説明が行われた。

○山元町大規模施設園芸圃場 視察 9:30～11:00

車内の説明に引き続き、菊池部長によりガイドがあった。同施設は園芸作物の先進生産技術の実証研究を行っており、メインターゲットであるイチゴの他にトマトも生産している。国・県・大学の他、地元企業のGRAが参画し、出荷されたイチゴの中には1粒1,000円の値が付いたものもあるという。新しい省エネ型温度管理技術や、炭酸ガスによる殺虫で農薬を減らす技術などに参加者は興味を引かれていた。



山元町大規模施設園芸圃場

○昼食、松島での抹茶体験 12:10～14:20

松島湾を臨むレストランでの昼食後、松島町産業観光課商工観光班 佐藤主査のガイドにより、伊達家がゲストハウスとして用いた「観瀾亭」での抹茶体験を行った。展望台での記念撮影後、石巻へ向かった。



松島 抹茶体験 (左) 展望台 (右)

○石巻市 視察、献花 15:00～17:00

石巻市街を見下ろす位置にある公園から沿岸部を見ながら、地域協働課 安部課長他より説明があった。

石巻の震災がれき処理は概ね終了したとのことであったが、がれきを保管してあった川沿いの土地はぽっかり空き地になっていた。参加者は、沿岸地域の献花台（「がんばろう！石巻」の看板、津波到達点を示す鉄塔がある）で献花を行った。その後、震災翌日から手書きの号外を発行した地元新聞社「石巻日日新聞社」を訪れ説明を聞いた。



献花

○松島 円通院ライトアップ 視察 17:50～18:30

ふたたび松島に戻り、佐藤主査のガイドにより、夜間ライトアップ期間中であつた円通院を見学した。気温の影響で、まさに紅葉がピークを迎えており、非常に多くの観光客が訪れていた。参加者も盛んに写真を撮るなどして紅葉を愛でていた。

○和室宿泊体験

この日の宿泊は、松島でも最大級の観光ホテル「松島大観荘」の和室で日本式宿泊スタイルを体験してもらうこととしていた。

バス内で宮崎通訳から簡単にレクチャーを行い、温泉はそれぞれスタッフが参加者と一緒に入って細かい説明を行った。

温泉は、松島湾を見渡せる露天風呂が備えられた非常に大きな設備であつた。男性参加者のうち2名は、1時間近く入浴するなど大変楽しんでた。

◆11/21 (木)

地方交流事業

○みやぎ復興パーク 視察 9:15～11:30

公益財団法人みやぎ産業振興機構 平野課長補佐より、全体説明があつた。

同施設は、ソニー仙台が施設を無償貸与する形で、被災した中小企業あるいは大学等研究機関が、管理費のみの負担で入居できる。

①CSSC（サイバー犯罪に対抗するセキュリティシステムの研究開発）、②東北大学 NICHe（電気自動車等次世代移動体の研究）、③株式会社みらい（植物工場の制御技術研究）の順に見学、説明を受けた。CSSCでは、室内の照明がデモンストレーションで点滅するなど、五感に訴える効果的なプレゼンテーションが好評を博していた。東北大学では電気自動車・バスに試乗することができ、Mr.McDonald、Mr.Tubb および Mr.Budd が試運転した。株式会社みらいでは、時間が限られた中植物工場の説明があった。



#### ○意見交換会 15:00～16:30

意見交換会の構成は、宮城県側で作成された。まず参加者の中から、Mr.Tubb および Mr.Newman が、それぞれの自治体における特色ある経済支援施策について、プレゼンテーションを行った。その後、宮城県海外ビジネス支援室 田中室長補佐より海外ビジネス・海外投資振興についての説明、JETRO 仙台センター 寺田所長による JETRO 事業説明があった。16:30 に意見交換会を終了した。

#### ○部長挨拶 16:35～16:50

経済商工観光部 犬飼部長より、宮城県プログラムの最後を締めくくる挨拶があった。

団長より、丁寧な返礼があり、記念品の交換を行った。最後に事業実施主体のクレアより、挨拶を行い、宮城県の全行程を終えた。

